

# PRESS RELEASE

2010年10月14日  
株式会社インターリスク総研  
株式会社インターネットイニシアティブ

## クラウドコンピューティングを活用したBCP策定コンサルティングを開始

～ 企業の不測の事態に備え、重要システムのクラウド化を支援 ～

MS&AD インシュアランス グループの株式会社インターリスク総研(インターリスク総研、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:内田 進)と株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一、コード番号:3774 東証第一部)は、大規模災害等に備え、クラウドコンピューティング(以下、クラウド)を活用した「事業継続コンサルティングサービス」の提供を本日より開始します。本サービスは、インターリスク総研のBCP(事業継続計画)策定コンサルティングと、IIJのクラウド技術を融合させることで、企業のBCP策定に際し、クラウド化によるバックアップサーバーなどのシステムコストの軽減とより実効性のあるBCPの策定を可能としました。

### 1. 本コンサルティングの概要

	BCP策定コンサルティング (インターリスク総研)	重要システムのクラウド コンピューティング化可否診断 (IIJ)
事業インパクト分析および情報システムの現状分析・評価	・事業インパクト分析による重要業務の特定 ・重要業務の継続を脅かすリスクの評価(リスクアセスメント) ・事業継続戦略の立案	・重要業務継続に必要なシステム(重要システム)の洗い出し ・現行の情報システムの脆弱性診断
クラウド化の可否診断	—	・重要システムのクラウド移行の可否診断
BCPの策定	・BCPの策定	・事業継続実現のためのクラウド化を含めたシステム面からのアドバイス

### 2. 導入の効果

両社のサービスを融合させることにより、システムコストの削減とより実効性のあるBCPの策定が可能となります。

- (1) 事前にクラウド化への妥当性を判断し、効率的な情報インフラやバックアップ体制を構築します。
- (2) 災害対策等に要するシステムのクラウド化による削減効果を試算します。

### 3. 料金体系(目安)

- ・ BCP策定コンサルティング: 150万円～
- ・ 重要システムのクラウドコンピューティング化可否診断: 50万円～

### 4. 2011年度末までの目標件数・金額

- ・ 目標件数 : 50件
- ・ 目標売上高 : 1億円

添付別紙:コンサルティングスキームの開発の背景など

本件に関するお問い合わせ

株式会社インターリスク総研 研究開発部 篠原、頼永

TEL: 03-5296-8920

報道関係お問い合わせ先

MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社 広報・IR 部 竹並

TEL: 03-3297-6705

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 手島、富永

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: [press@ij.ad.jp](mailto:press@ij.ad.jp)

URL: <http://www.ij.ad.jp/>

## 1. コンサルティングスキーム開発の背景

事業継続計画(BCP)の重要性は、日本政府の事業継続に関わるガイドラインの発行や国際標準化の高まりなどを受け、この10年で多くの企業に認知され、高まりを見せています。

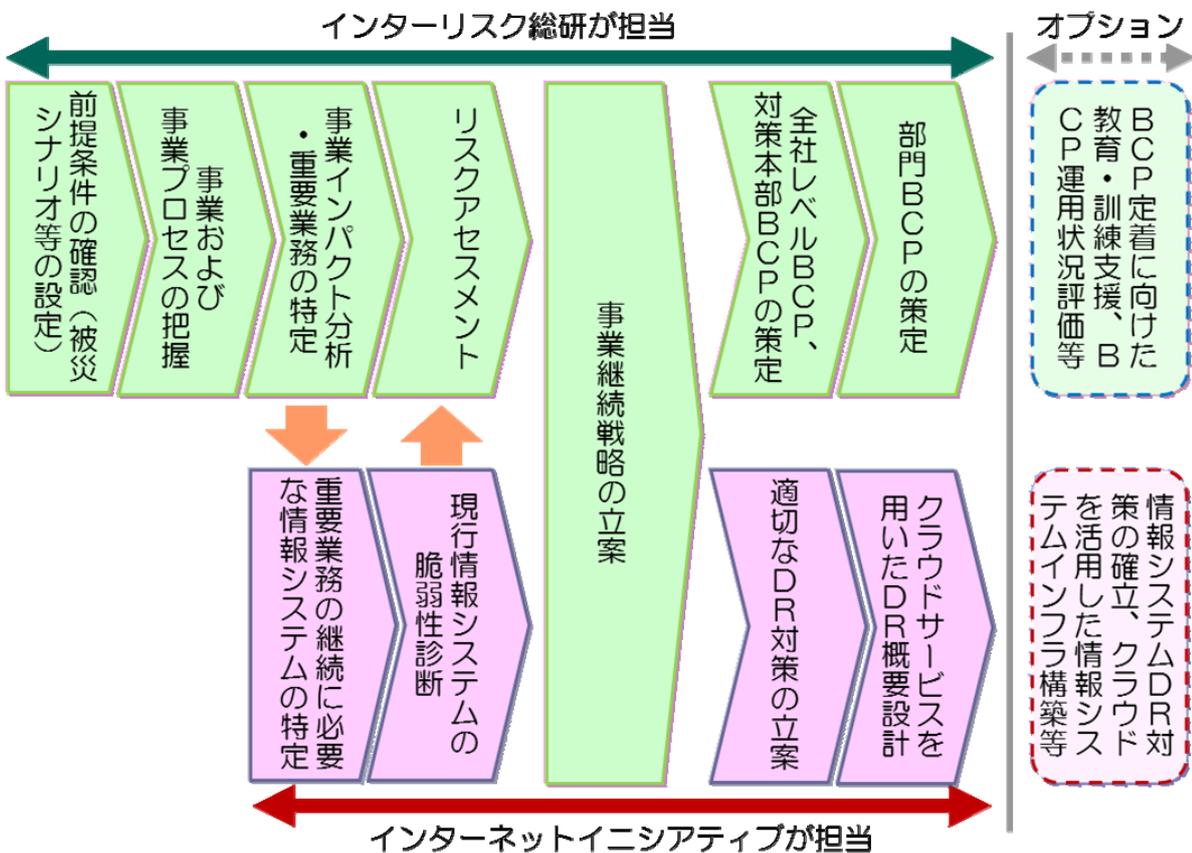
一方で、情報システムや各種インフラの発達により、情報システムなしでは事業が成り立たない状況にあります。

2010年7～8月のインターリスク総研による国内全上場企業(3,733社)に対するアンケート調査では、基幹業務継続におけるITの依存度が「大きくなっている」と回答した企業は77.4%にのぼり、まさに「日に日に高まりを見せている」状況です。

同アンケートでは社内情報ネットワークの最大許容停止時間は、69.1%の企業が24時間以内と回答、3日以内を含めると88.6%に達しています。高まりつつあるIT依存の中でも、特に社内ネットワークの早期復旧体制の整備が事業継続に欠かせない要素です。

これまで、システムの更改・改良には多額の費用がかかるものでしたが、昨今クラウドコンピューティングサービスを適切に用いることで災害復旧システムのコストを大きく下げることができる設計が可能となりました。

## 2. サービスの詳細フロー



以上